

2026（令和8）年度
（公財）日本テニス協会・（公社）日本プロテニス協会：公認
第6回S級エリートコーチ養成講習会

受講の手引き

【目次】

1. S級エリートコーチ養成講習会概要	
1) 主催及び協力	P2
2) S級エリートコーチについて	P2
3) 受講資格	P2
4) 受講カリキュラム	P2
5) 受講コースと受講料について	P3
6) 講師紹介	P3-4
2. 受講の申込から修了まで	
1) 申込方法	P5-6
2) 書類審査と定員	P6
3) 受講者の正式決定	P6
4) インターンシップ（現場実習）	P7
5) 検定試験	P7
6) 合否判定	P7
7) 宿泊について	P7
3. S級エリートコーチ養成講習会スケジュール	P8-9
4. S級エリートコーチ養成講習会カリキュラム	P9
連絡事項	P10

受験番号	
氏名	

※講習会に参加する際には「受講の手引き」を持参してください。
<http://www.jta-tennis.or.jp/>

※「受講の手引き」はJTAホームページからダウンロードできます。



I. S級エリートコーチ養成講習会概要

1. 主催及び協力

- | | | |
|--------|--------|--------------------|
| 1) 主 催 | 公益財団法人 | 日本テニス協会 (以下、J T A) |
| 2) 協 力 | 公益社団法人 | 日本プロテニス協会 |
| | 公益社団法人 | 日本テニス事業協会 |

2. S級エリートコーチについて

- 1) 制度の目的
テニスのトレーニング、コーチング、マネジメントの各分野において最新の科学的理論と実践知識に基づき、世界基準の指導力を有する指導者を育成する。
- 2) 役割
 - ① 国際的なレベルで活躍できるプレーヤーの育成強化に貢献する。
 - ② 国内および国際的なリーダーとしてテニス競技の発展および振興に貢献する。
 - ③ レベルや年齢を問わず、全ての人に適切な指導を行う。
 - ④ 指導者のリーダーとして優秀な指導者の育成に貢献する。
 - ⑤ トレーニングセンター活動に貢献する。

3. 受講資格

下記事項の(1)～(4)を全て満たし、なおかつ(5)～(9)のいずれか一つを満たす方は受講申込ができます。受講申込書類を確認・審査の上、受講者を決定いたします。

- (1) J T A、(公社)日本プロテニス協会、(公社)日本テニス事業協会の中のいずれかの団体の推薦を受けた者
- (2) 日常英会話程度の語学力のある者
- (3) 2026年4月1日現在で、満28歳以上の者
- (4) 全国大会レベルのプレーヤーに対する指導歴を有する者
- (5) (公財)日本スポーツ協会公認「コーチ4」の保有者または「コーチ4」受講者
- (6) 過去にデビスカップあるいはB J K (フェド) カップ代表選手に選出された者
- (7) 過去に「ナショナルチーム」代表選手に選出された者
- (8) J T A強化育成本部より推薦された者
- (9) J T A普及推進本部より推薦された者

4. 受講カリキュラム

- I. 基礎理論課程：国内集合講習 88時間
- II. 指導実習課程：国内集合講習 32.5時間
- III. インターンシップ (指導実習)：基礎理論および指導実習の合格者に対して実施します。

5. 受講コースと受講料について

1) 所持資格により受講料が変わります。

受講コース	保有資格について	受講料(消費税込)
Aコース	コーチ3保有者、コーチ4保有者	275,000円
Bコース	上記以外の方	297,000円

2) 交通費宿泊費等の諸経費は各自でご負担ください。

6. 主な講師紹介

フヴォイエ・スマイッチ (Hrvoje Zmajic)

担当科目：テニスの技術指導、テニスのバイオメカニクス

ヨーロッパにおけるテニス育成の第一人者である講師は、現在イタリア・テニス連盟とフィンランド・テニス協会に所属し、選手やコーチの育成について世界的にコンサルティングを行っている。ITFのコーチ教育にも協力し、1992年から1995年までクロアチア・テニス協会のナショナル・ジュニア・コーチを務めた。

三森 ゆりか (Yurika Sanmori)

担当科目：日本人の特質とコミュニケーションスキル法

つくば言語技術教育研究所所長。東京都出身。

上智大学外国語学部ドイツ語学科卒

1990年「つくば言語技術教育研究所」開設、現在は、研究所の他、日本サッカー協会、日本オリンピック協会、学校、大学、企業などでも講師を務める。

竹内 映二 (Eiji Takeuchi)

担当科目：戦略と戦術

京都府出身。

元デビスカップ代表選手。元デビスカップ代表監督。

2008年北京オリンピック監督。2004年アテネオリンピックコーチ。

1987年全日本テニス選手権 シングルス準優勝、ダブルス優勝

1986年全日本テニス選手権 ダブルス優勝

佐藤 雅幸 (Masayuki Sato)

担当科目：メンタルスキル

専修大学名誉教授。研究分野はスポーツ心理学。

山形県出身。

現在、松岡修造チャレンジジュニア育成コーチングスタッフ（心理サポート担当）

としても活躍中。

岩月 俊二 (Shunji Iwatsuki)

担当科目：フィジカルトレーニング

アメリカスポーツ医学会 (ACSM) 認定エクササイズ・フィジオロジスト EP-C。

愛知県出身。

(公財) 吉田記念テニス研修センター評議員、日本福祉大学非常勤講師。

藤田 聡 (Satoshi Fujita)

担当科目：スポーツ生理学

立命館大学 教授／博士 (運動生理学)。研究分野はスポーツ生理・生化学。

兵庫県出身

運動と栄養摂取が身体の代謝調節に与える影響を研究し、スポーツ現場での運動・栄養指導にも従事している。

高橋 正則 (Masanori Takahashi)

担当科目：テニスにおけるスポーツ心理学の活用

日本大学 教授／博士 (学術) 研究分野はスポーツ心理学

静岡県出身

東京都のトップアスリート発掘育成事業に関わりジュニア選手の育成に尽力している。

※ 講師の都合で、変更場合があります。

II. 受講の申込から修了まで

1. 申込方法

- 1) 受講希望者の申込書類
 - ① 受講申請書：様式 1
 - ② 推薦団体からの推薦書：様式 2
 - ③ S級エリートコーチ資格取得の目的：様式 3（3000 字程度）
 - ④ S級エリートコーチ資格取得後の指導計画：様式 4（800 字程度）
 - ⑤ 競技歴（最高ランキング、デビスカップ・BJK（フェド）カップ出場の有無は必ず記入のこと）：様式 5
 - ⑥ 指導歴（対象選手名、期間、成績など）：様式 6
- 2) 各提出先（申込書類①②と③～⑥は、提出先が異なります。ご注意ください）
 - I) 申込書類①～② <受講申請書（様式 1）、推薦書（様式 2）>
 - * 各自の推薦団体にご提出ください（下記参照）。
 - * Aコース申込者は、資格認定証の写しを添付してください（必ず「S級受講申請書」と明記してください）。

【推薦団体】

(公財) 日本テニス協会

*受講資格（5【コーチ 4 保有者またはコーチ 4 受講者】

所属する都府県テニス協会または地域テニス協会から J T A に提出

*受講資格（6）～（8）

直接 J T A に提出

*受講資格（9）

所属する都府県テニス協会または地域テニス協会から J T A に提出

(公社) 日本テニス事業協会

*テニスクラブ推薦者は、日本テニス事業協会にご提出ください。

(公社) 日本プロテニス協会

*日本プロテニス協会推薦者は、日本プロテニス協会にご提出ください。

【各推薦団体の締切り】締切日は、各推薦団体にご確認ください。

II) 申込書類③～⑥

<目的（様式 3）、指導計画（様式 4）、競技歴（様式 5）指導歴（様式 6）>

* J T A 事務局の下記アドレスに添付データとして、送信してください。

* 件名は「S級受講申込書類（氏名）」としてください。

【送信先】E-mail: s-coach@jta-tennis.or.jp

【締切日】2026年7月31日（日）必着

3) 書類作成上の注意

- ア) 推薦団体の推薦がない受講申請書（様式 1）は無効となります。必ず推薦団体を經由してお申込ください。

- イ) Aコース申込者は資格認定証(認定カードでも可)のコピーを受講申請書(様式1)に添付してください。証明する資料の貼付がない場合は、Bコース申込者となります。
- ウ) 受講資格のコーチ3、コーチ4等、認定資格名称及び認定番号、氏名等は正確にご記入ください。
- エ) 受講申請書(様式1)には顔写真を必ず添付してください(縦3cm×横2.5cm、画像データ可)。

※受講料の振込みは、受講可否通知送付後になります。受講料はP3-5項をご参照ください。

4) 推薦団体へのお願い

各推薦団体は、推薦印押印後、受講申請書(様式1)、推薦書(様式2)を下記JTA宛に送信または郵送してください。

【送信先】事務局宛 E-mail: s-coach@jta-tennis.or.jp

【送付先】〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square 7階

(公財)日本テニス協会 S級エリートコーチ講習会宛

【締切日】2026年7月31日(日)必着

2. 書類審査と定員

- 1) 提出された申込書類①～⑥を基に、検定委員会が書類審査を行い、JTA常務理事会にて受講生を決定します。
- 2) 定員: 20名

3. 受講者の正式決定

- 1) 受講決定者へ、下記関係書類を9月上旬(予定)にメールにて発送します。
 - ①受講決定通知と受講料振込に関する案内
 - ②会場案内、用意するもの他
- 2) 受講者として正式決定された後の解約による受講料の返金は出来ません。予めご了承ください。
- 3) 各推薦団体には「可否判定一覧表」をメールで送付します。
- 4) s-coach@jta-tennis.or.jpからのメールを受信できるように、メールソフトの設定をお願いいたします。
- 5) JTAからのメールは一斉送信のため、迷惑メールフォルダーに分類されることがあります。メールが届かないなどの場合は、迷惑メールフォルダーもご確認をお願いいたします。

4. インターンシップ(現場実習)

- 1) 検定試験合格者に実施いたします。詳細は、養成講習会中にお知らせします。

5. 検定試験

- 1) 期日 2027年2月25日 /筆記試験
2027年2月26日・27日/指導実習・口頭試問
※指導実習・口頭試問は 2日間の内、一人いずれか1日
- 2) 場所 NTC 〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1
- 3) 試験内容
 - ①理論試験：筆記試験、口頭試問試験
 - ②指導技能試験：
- 4) 詳細は、講習会開催時にお知らせします。

6. 合否判定

- 1) 検定試験終了後、JTA常務理事会にて合否判定を行います。
- 2) 検定試験に合格するためには、理論試験（筆記試験、口頭試問試験）、指導技能試験の両方に合格する必要があります。

7. 宿泊について

- 1) 各自で手配してください。

Ⅲ. スケジュール (案) : 都合により変更になる事があります

I. 2026年10月16日(予定)～11月15日 オンデマンド講習 (14時間)

- 自己責任にてコンピューターウイルス対策等がなされているパソコンや通信機器、通信回線等をご準備ください。
- 長時間のインターネット接続となるため、Wi-Fi 環境での接続を推奨致します。
- 通信回線の利用料金等が発生する場合は、自己負担となります。
- 受講によりコンピューターウイルスや第三者の妨害等の行為による不可抗力によって生じた損害等について、日本テニス協会は一切の責任を負いません。

II. 2026年11月16日～22日 (7日間) 研修室/テニスコート (約66時間)

日付	時間	形式	場所
1日目	9:00～9:30	受付	研修室
	9:30～18:30	講義・実技	研修室
2日目～ 6日目	8:30～19:30	講義・実技	研修室 コート
7日目	8:30～17:30	講義・実技	研修室・コート

- 11月19日 9:00 集合
於: 味の素ナショナルトレーニングセンター (NTC) 内 研修室、テニスコート
115-0056 東京都北区西が丘3-15-1
- 交通機関 【電車】 都営三田線「本蓮沼」駅より徒歩10分/
JR埼京線・京浜東北線「赤羽」駅よりバス
- 最終日11月22日 17:30解散予定

III. 2026年12月22日～25日 (4日間) 研修室/テニスコート (約34時間)

日付	時間	形式	場所
1日目	8:30～9:00	受付	研修室
	9:00～19:00	講義・実技	研修室
2日目～ 3日目	9:00～19:00	講義・実技	研修室 コート
4日目	9:00～18:30	講義・実技	研修室・コート

- 12月22日 8:30集合 於: NTC内 研修室 (同上)
- 最終日12月25日 18:30解散予定

IV. 2027年2月22日～27日（6日間） 研修室/テニスコート（約24時間）

日付	時間	形式	場所
1日目	8:30～9:00	受付	研修室
	9:00～18:00	講義・実技	研修室・コート
2日目～ 3日目	9:00～18:00	講義・実技	研修室・コート
4日目	9:00～12:00	筆記テスト	研修室
	12:00～13:30	インターンシップ等説明	研修室
5日目～ 6日目	9:00～17:00	口頭試問・指導実習	研修室・コート

- 2月22日 8:30集合 於: NTC内 研修室(同上)
- 口頭試問・指導実習はどちらかの日程に振り分けます。詳細は講習中に連絡します。

IV. カリキュラム(案)

	内 容
	コミュニケーションスキル テニスのバイオメカニクスと技術 デイベート メンタルヘルス ウェルビーイング トップアスリートの実践事例 スポーツ医学 スポーツ栄養学 フィジカルトレーニング概論 戦術 オリンピック論 コーチングマネジメント プレゼンテーション手法 アンチドーピング テニスと多様性 スポーツ生理学 ジュニア期の育成強化 キャリアトーク コーチングコミュニケーション ATP, WTA トーナメント コーチングコミュニケーション スポーツマンシップ、インテグリティ テニスのパフォーマンス構造
	他

【連絡事項】

- 1) 受講申請書の記入について
 - ・手引きを熟読し、講習会の内容、流れを十分にご理解・ご了承の上お申込みください。
 - ・指導者資格の登録番号・登録有効期限を必ず記入してください。登録証の写しを、必ず添付してください。
 - ・収集したデータについては、本講習会での受講者管理以外の目的で使用することはありません。
- 2) 講習会開催期間中に怪我等があった場合、応急処置は行いますが、主催者はその責任を負いません。受講者の自己負担となるので、受講者はスポーツ傷害保険に加入しておくようお勧めします。
- 3) 宿泊について
 - ・各自で手配してください。
 - ・インターンシップ（現場研修）の場合も、自己負担とします。
- 4) 受講料お支払い方法
 - ・受講申込み後、J T Aにて審査を行い、受講者を決定いたします。受講決定通知を受け取った後、指定の手続きに従ってお支払いください。
- 5) S級エリートコーチの認定登録証（ライセンス）取得者はJSP0公認コーチ3・コーチ4養成講習会の専門科目受講及び試験が免除されます。ただし、必ずJSP0共通科目Ⅲ、Ⅳを順に受講し、公認コーチ3およびコーチ4を取得してください。

以上